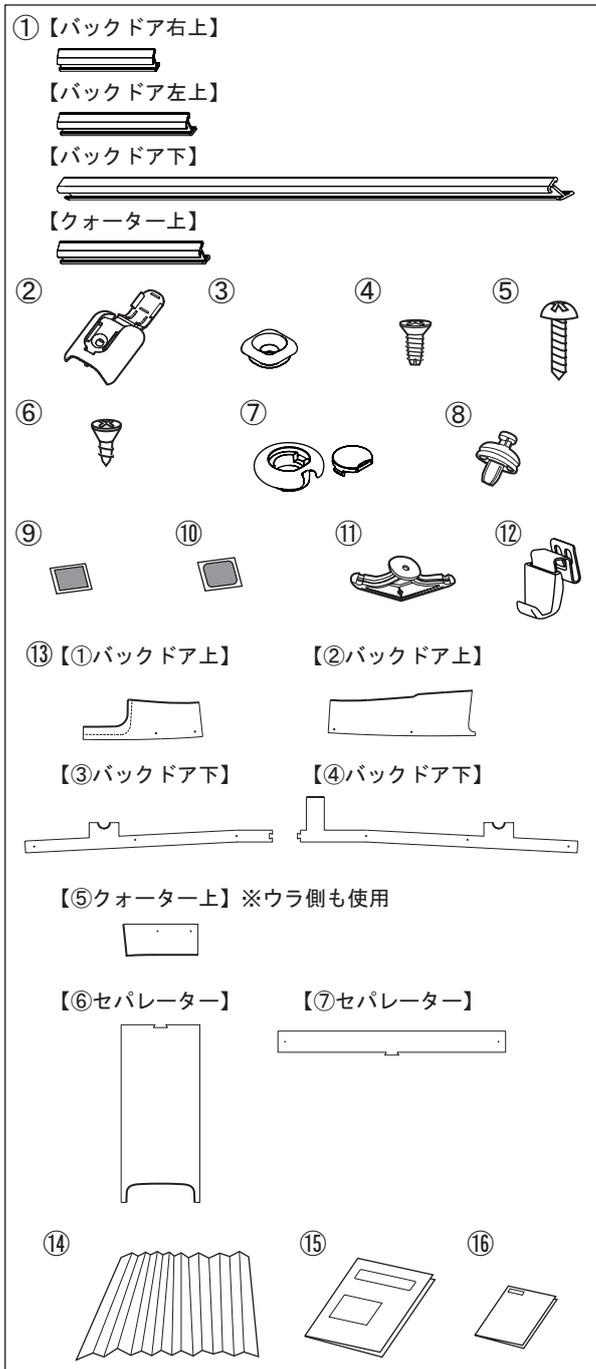


このたびは、トヨタ純正室内カーテンセットをお買い上げいただきありがとうございます。  
 本書は、室内カーテンセットの取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読みいただき、  
 正しく取り付けを行ってください。  
 別紙の「取扱書」は、必ずお客様にお渡しください。

### 品番

適用	品番
サンシェード有り	08232-52040
サンシェード無し	08232-52050

### 構成部品



NO.	品名	使用部位	寸法	補給品番 08232-	個数	
					サンシェード 有り	サンシェード 無し
①	レール	バックドア右上	L=110		1	1
		バックドア左上	L=170		1	1
		バックドア下	L=900		1	1
		クォーター	L=180		2	2
②	エンドキャップ	グレー		00001	10	10
③	リング			00006	14	14
④	皿タッピング		M4*10		14	14
⑤	トラスタッピング		M4*20		2	2
⑥	皿タッピング		M3*10		10	10
⑦	フック (キャップ付き)				2	2
⑧	樹脂ホック	グレー		00003	24	24
⑨	粘着テープ付きマジックテープ	ブラック			9	9
⑩	粘着テープ付きマジックテープ	グレー			2	2
⑪	トグラードアンカー				2	2
⑫	シェードフック					4
⑬	型紙	①バックドア上			1	1
		②バックドア上			1	1
		③バックドア下			1	1
		④バックドア下			1	1
		⑤クォーター上			1	1
		⑥セパレーター			1	1
		⑦セパレーター			1	1
⑭	カーテン生地	リヤ用生地セット (6枚)		52042	1	1
		セバ用生地セット (1枚)+ 収納袋(1枚)		52041	1	1
⑮	取付要領書				1	1
⑯	取扱書				1	1

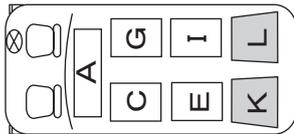
※②③⑧の補給品番は各1個入りです



# 【バックドア部の取り付け】

## 取り付け概要

### ○バックドア部



<運転席側>

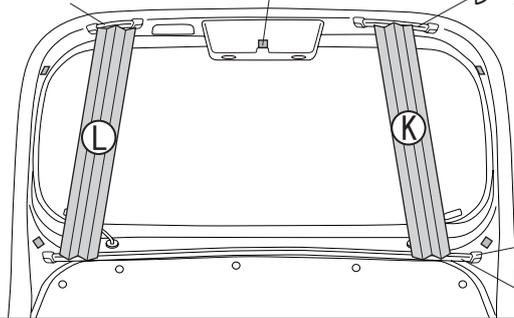
粘着テープ付き  
マジックテープ  
(ブラック) × 5

<助手席側>

【室内視】

レールL=110mm

レールL=170mm

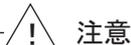
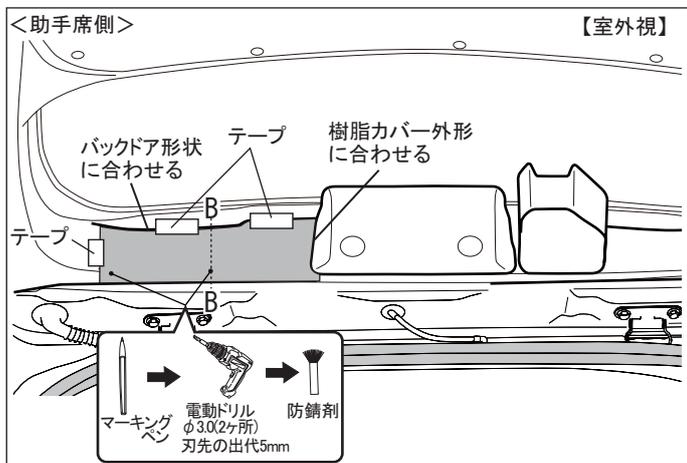
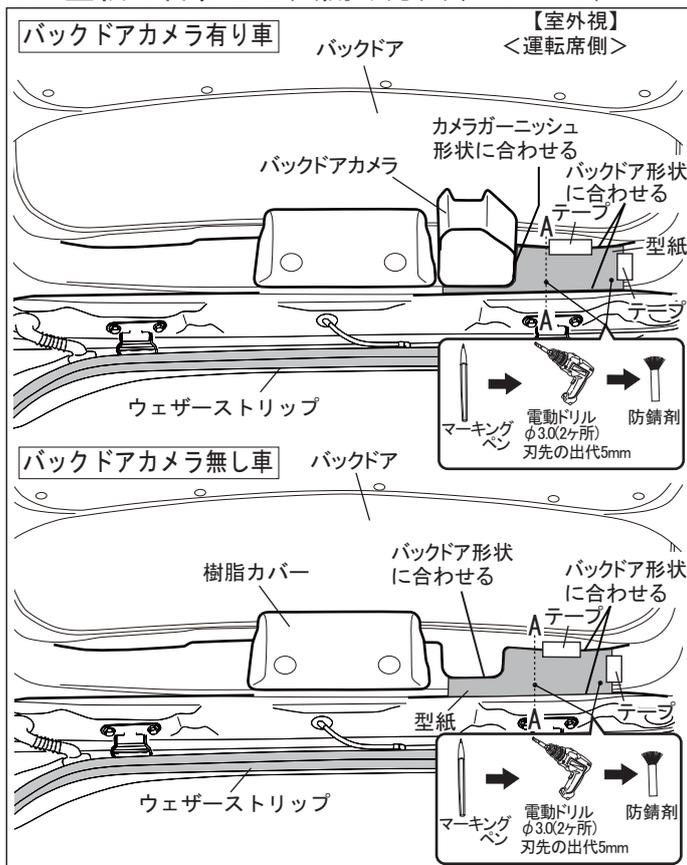


エンドキャップ × 6

レールL=900mm

## 取り付け要領

### 1. 型紙の合わせと穴開け方法(上レール)



注意

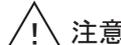
バックドアカメラ有り車の場合は型紙をミシン目で切り取ってから作業を行ってください。

- ①バックドアを開ける。
- ②左図を参考にバックドア上運転席側の樹脂カバー及びバックドア形状を基準に型紙を合わせ、テープ等で固定し穴越しにマーキングする。

A-A断面



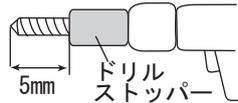
- ③型紙を外しマーキング部にドリル(φ3.0)で穴開けする。



注意

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。

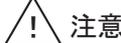


- ④左図を参考にバックドア上助手席側の樹脂カバー及びバックドア形状を基準に型紙を合わせ、テープ等で固定し穴越しにマーキングする。

B-B断面



- ⑤型紙を外しマーキング部にドリル(φ3.0)で穴開けする。



注意

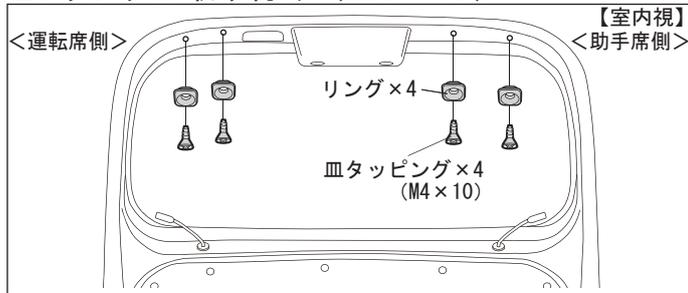
電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



- ⑥穴開け部に防錆剤を塗布する。

## 2. リングの取り付け（上レール）

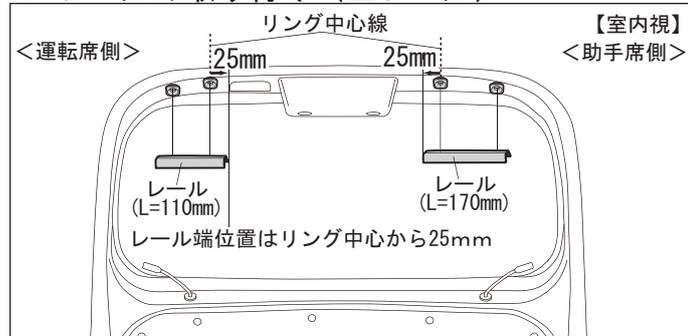


①穴開け部にリングを皿タッピングにて取り付ける。

**!** 注意

リングは取付面に対し、平行に取り付けて下さい。

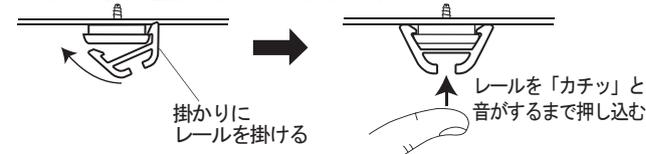
## 3. レールの取り付け（上レール）



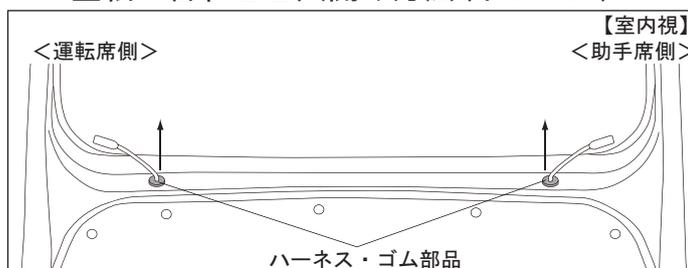
①レールをリングにはめ込む。

**!** 注意

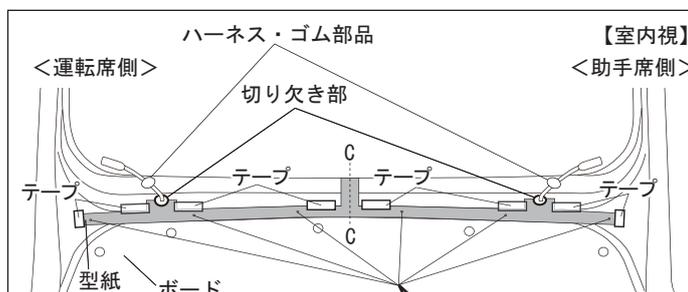
レールをリングに押し込む際は、リングの片側の掛かりにレールを掛けてから、もう片側へ押し込むように固定してください。



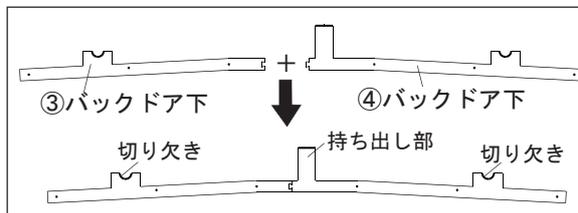
## 4. 型紙の合わせと穴開け方法（下レール）



①ハーネスのゴム部品を外す。



②型紙をテープ等を利用し組み合わせる。



③型紙の切り欠き形状を車両切り欠き部へ、中心の持ち出し部を車両パネル端末に合わせ、テープ等で固定し穴越しにマーキングする。

④型紙を外しマーキング部にドリル(φ3.0)で穴開けする。

**!** 注意

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。

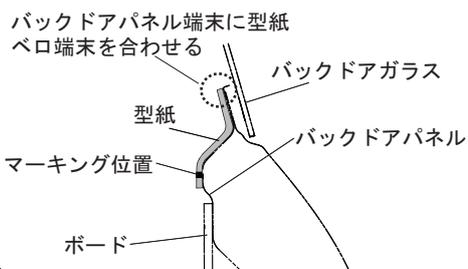


⑤穴開け部に防錆剤を塗布する。

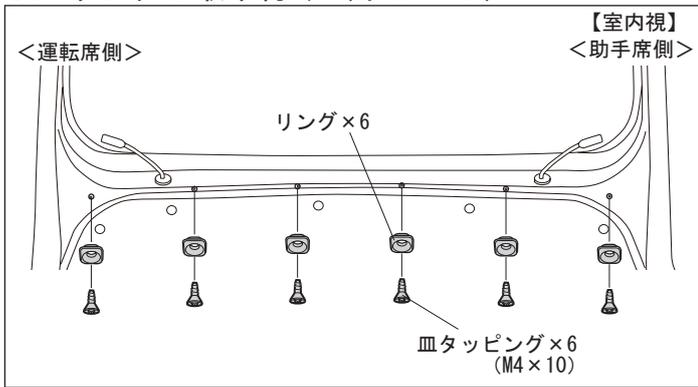
⑥ハーネスのゴム部品を復元する。



### C-C断面



## 5. リングの取り付け（下レール）



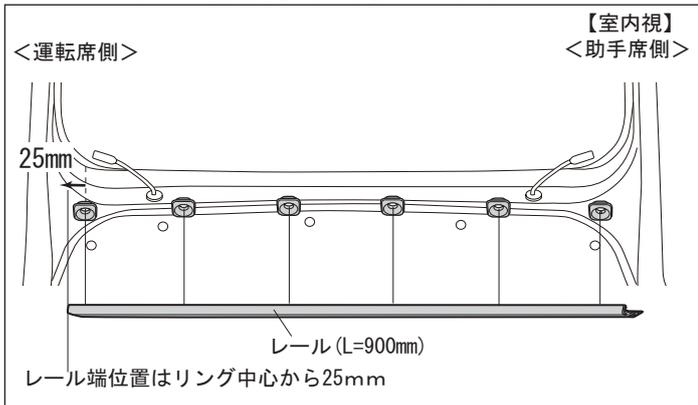
①穴開け部にリングを皿タッピングにて取り付ける。



注意

リングは取付面に対し、平行に取り付けて下さい。

## 6. レールの取り付け（下レール）

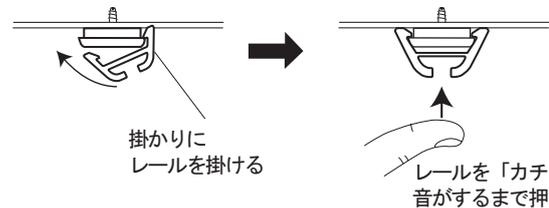


①レールをリングにはめ込む。

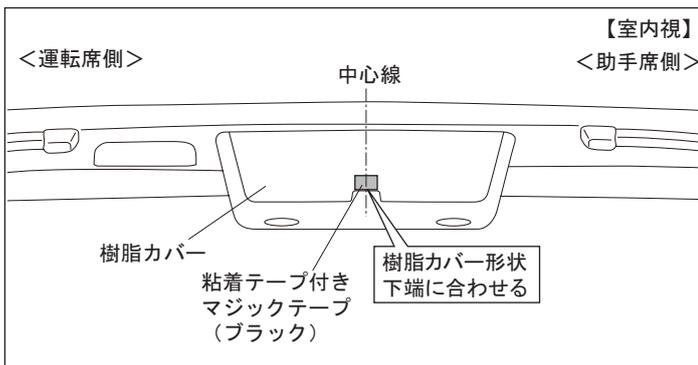


注意

レールをリングに押し込む際は、リングの片側の掛かりにレールを掛けてから、もう片側へ押し込むように固定してください。

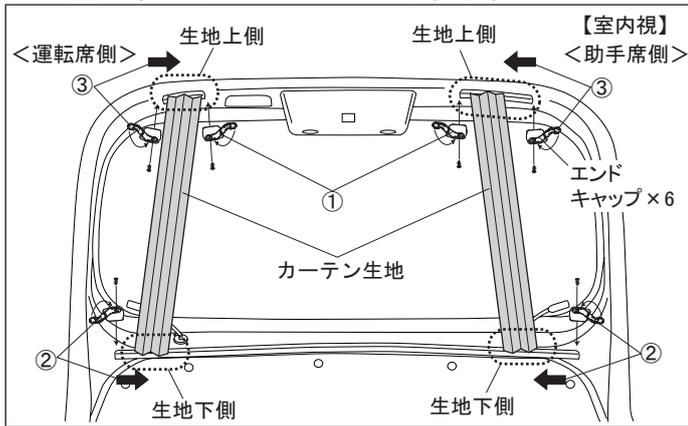


## 7. 粘着テープ付きマジックテープの取り付け（センター部）



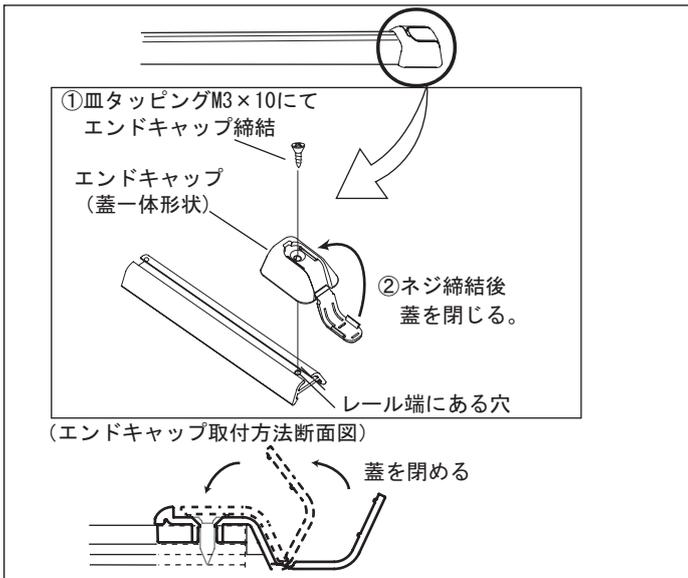
①脱脂剤等で取付面をクリーニングした後、左図を参考に樹脂カバーの形状下端合わせ位置に粘着テープ付きマジックテープ（ブラック）を横長になるように貼り付け圧着する。

## 8. 生地、エンドキャップの取り付け

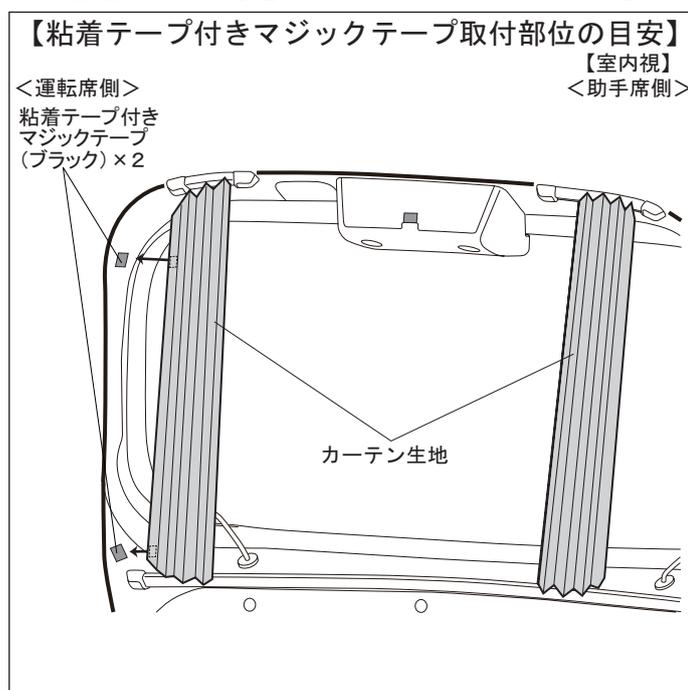


- ①上レール室内側のエンドキャップを取り付ける。
- ②下レールへカーテン生地下側を通し、下レールのエンドキャップを取り付ける。
- ③上レールへカーテン生地上側を通し、上レール室外側のエンドキャップを取り付ける。
- ④エンドキャップに一体化している蓋を閉じる。  
(蓋部に付いている2ヶ所のツメをエンドキャップ本体にある長穴へかける)

### <エンドキャップ取り付け>



## 9. 粘着テープ付きマジックテープの取り付け



- ①バックドアを閉める。
- ②左図を参考に室内側より生地に縫付けられているマジックテープより現物合わせにてマーキングをする。
- ③脱脂剤等で取り付け面をクリーニングした後、マーキング部に粘着テープ付きマジックテープ (ブラック) を貼り付け圧着する。

### ⚠ 注意

粘着テープ付きマジックテープ (ブラック) の取り付けは、バックドアフレームに取り付けてください。その際、左図の太線より内側に取り付けてください。生地を挟み込み、水入りが発生するおそれがあります。

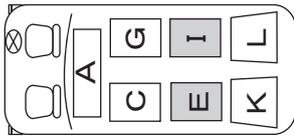
- ④取り付けした粘着テープ付きマジックテープ (ブラック) に生地マジックテープを合わせ、固定する。
- ⑤助手席側も運転席側と同手順で取り付けをする。
- ⑥バックドアを開閉し、生地および粘着付きマジックテープ (ブラック) がウェザーstriップに挟まっていないか確認する。

# 【クォーター部の取り付け】

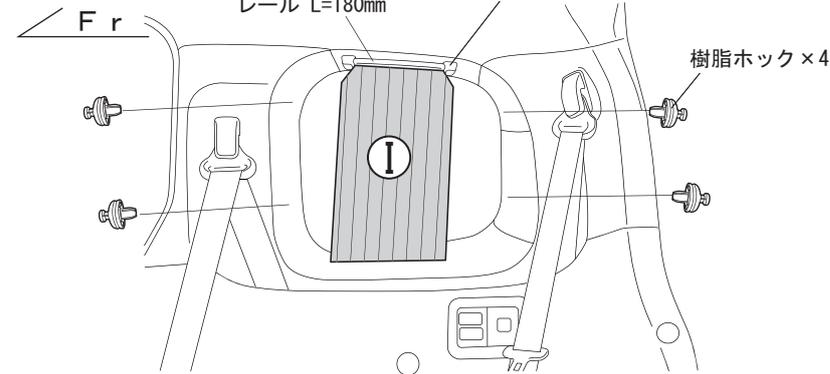
## 取り付け概要

○クォーター部 運転席側は①パーツ、助手席側は⑤パーツです。

【室内視】

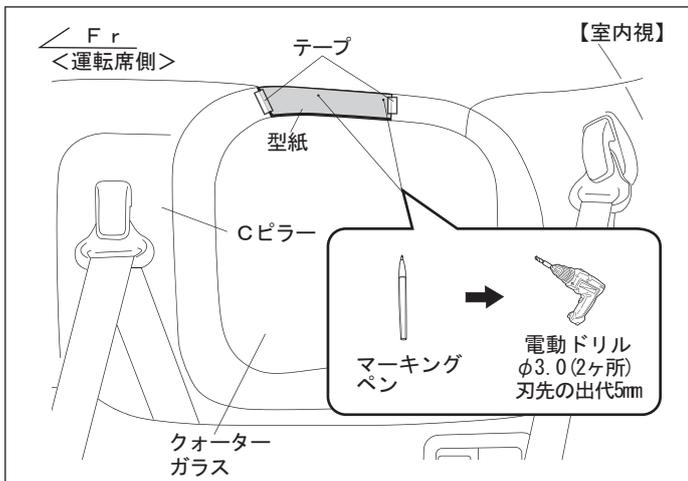


<運転席側>



助手席側も運転席側と同様の手順で取り付けてください。(型紙は裏返して利用してください。)

### 1. 型紙の合わせと穴開け方法



- ①Cピラーを基準に型紙をガラスに突き当てテープ等で固定し穴越しにマーキングする。
- ②型紙を外しマーキング部にドリル(φ3.0)で穴開けする。

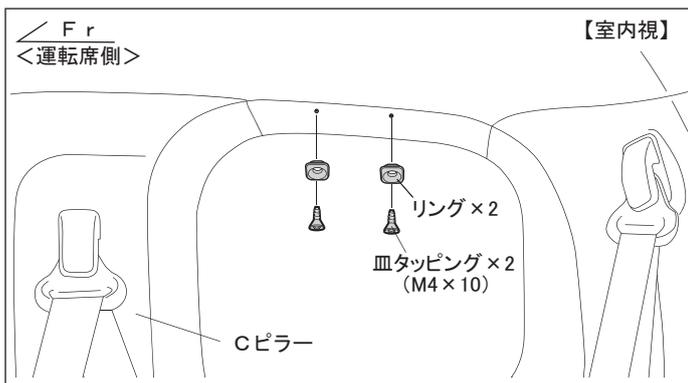
⚠ 注意

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



### 2. リングの取り付け

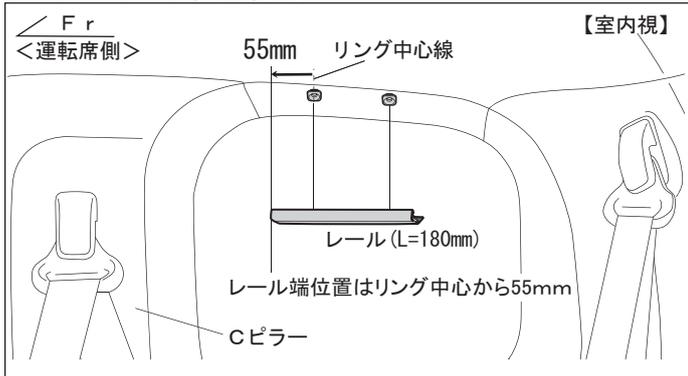


- ①穴開け部にリングを皿タッピング(M4×10)にて取り付ける。

⚠ 注意

リングは取付面に対し、平行に取り付けて下さい。

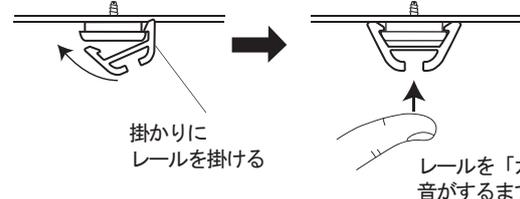
### 3. レールの取り付け



- ①レールをリングにはめ込む。

⚠ 注意

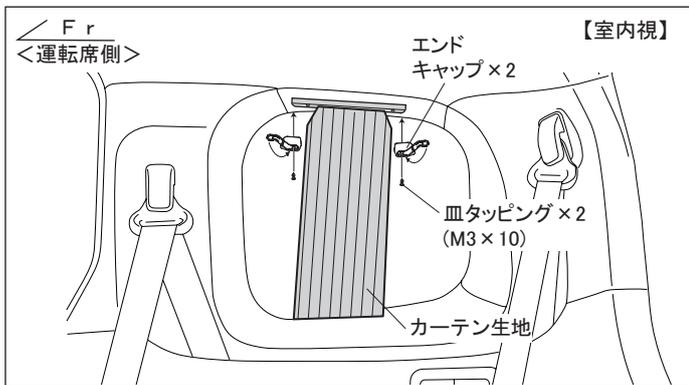
レールをリングに押し込む際は、リングの片側の掛かりにレールを掛けてから、もう片側へ押し込むように固定してください。



掛かりにレールを掛ける

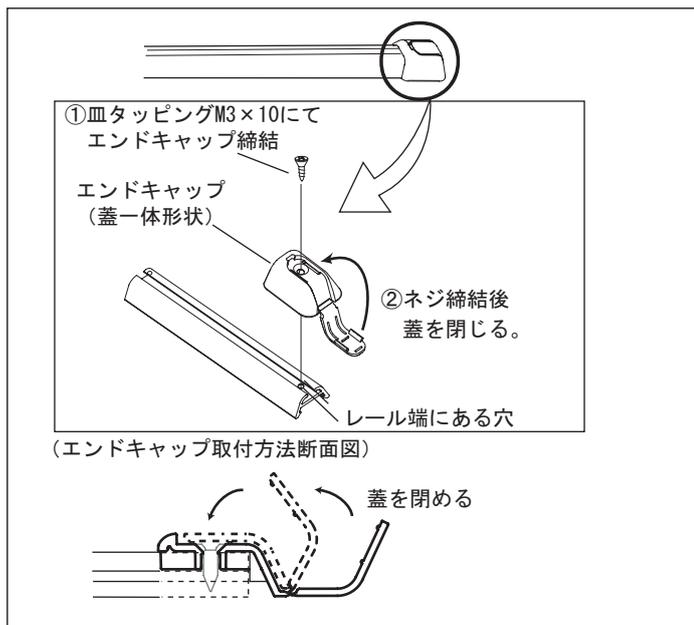
レールを「カチッ」と音がするまで押し込む

#### 4. 生地、エンドキャップの取り付け



- ①左図を参考に取り付けしたレールにカーテン生地を組み付ける。
- ②レール両端にある穴へ皿タッピングでエンドキャップを取り付ける。
- ③エンドキャップに一体になっている蓋を閉じる。  
(蓋部に付いている2ヶ所のツメをエンドキャップ本体にある長穴へかける)

#### <エンドキャップ取り付け>



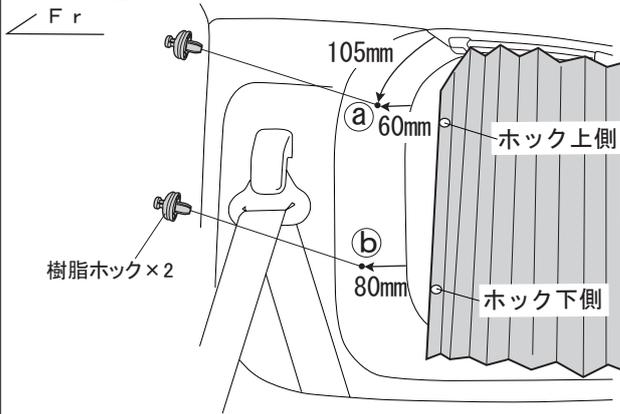
## 5. 樹脂ホックの取り付け

### 【樹脂ホック取付部位の目安】

運転席・Cピラー側

【室内視】

寸法は全て面沿いです。(ピラー端末より採寸)

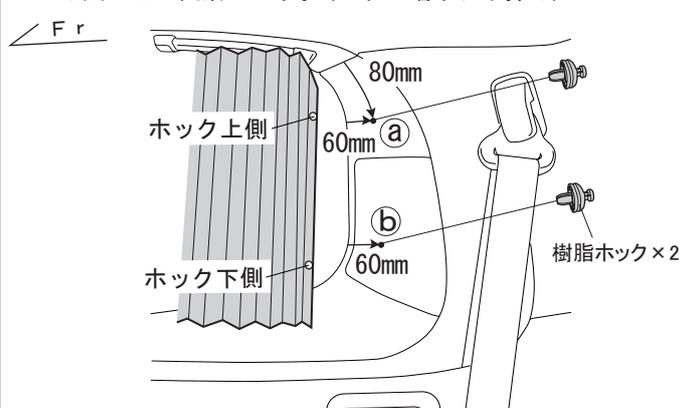


### 【樹脂ホック取付部位の目安】

運転席・Dピラー側

【室内視】

寸法は全て面沿いです。(ピラー端末より採寸)



① Cピラー側①の位置を左図を参考にマーキングする。

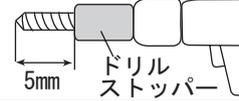
② マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、  
ドリル(φ6.0)で穴開けする。



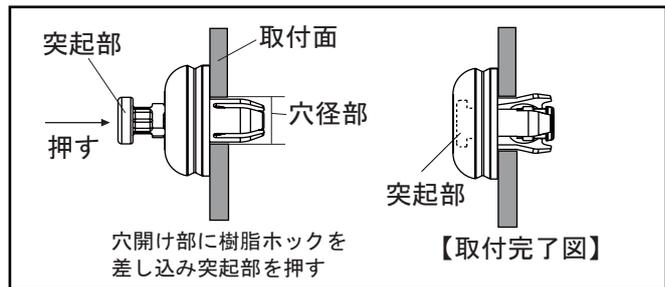
注意

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。  
巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



③ ①の穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。



④ ②部の樹脂ホックにカーテン生地ホック上側を合わせる。

⑤ カーテン生地ホック下側を基準に上下位置を合わせ、  
左図を参考にCピラー側②の位置をマーキングする。

⑥ マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、  
ドリル(φ6.0)で穴開けする。



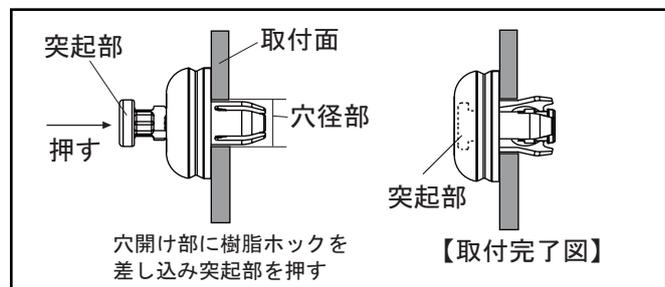
注意

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。  
巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



⑦ ②の穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。



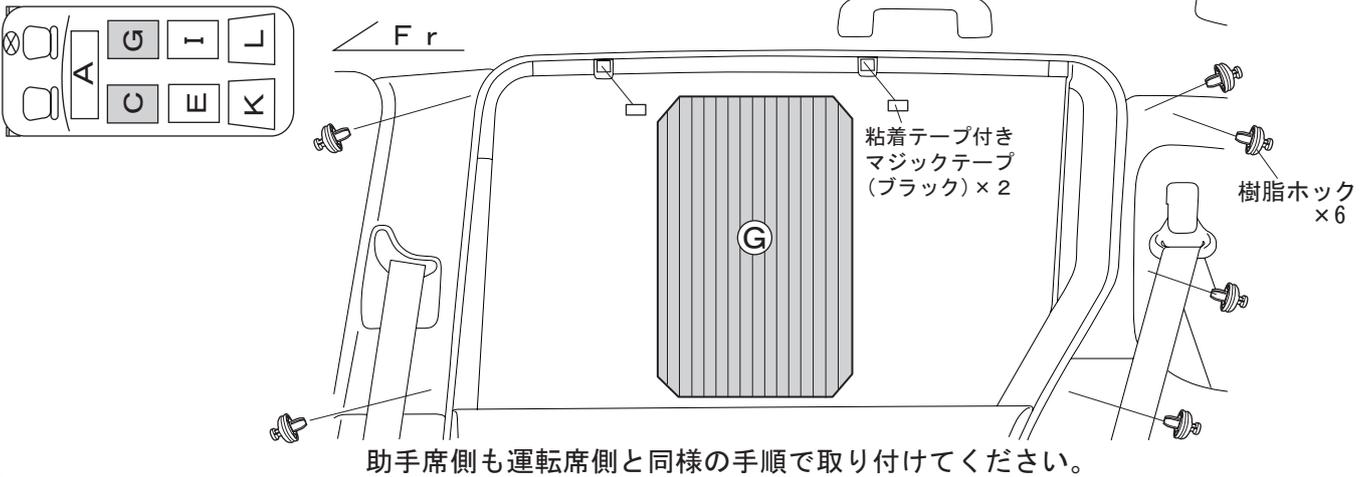
⑧ ②部の樹脂ホックにカーテン生地ホック下側を合わせる。

⑨ Dピラー側も、Cピラー側と同じ手順で取り付ける。

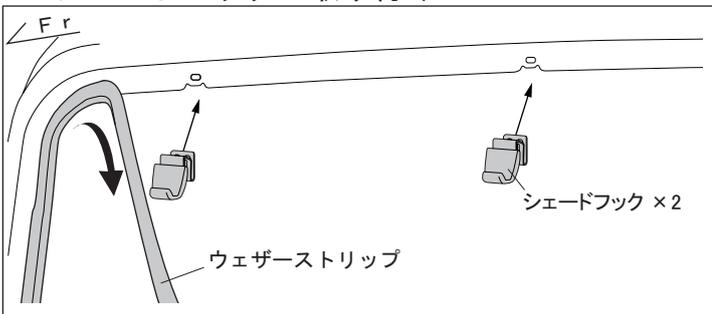
# 【スライドドア部の取り付け】

## 取り付け概要

○スライドドア上部<運転席側> 運転席側はGパーツ、助手席側はCパーツです。 【室内視】



### 1. シェードフックの取り付け



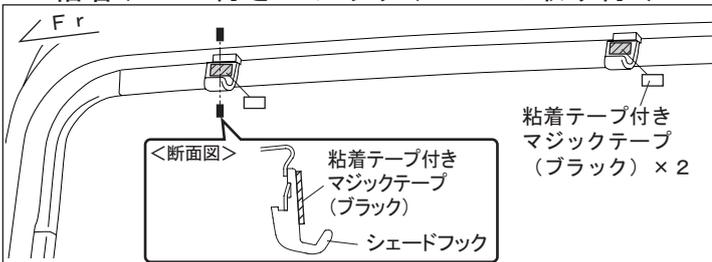
「1.シェードフックの取り付け」はサンシェード無し車のみ行ってください。

#### ⚠ 注意

必ずパワースライドをOFFの状態で作業を行ってください。

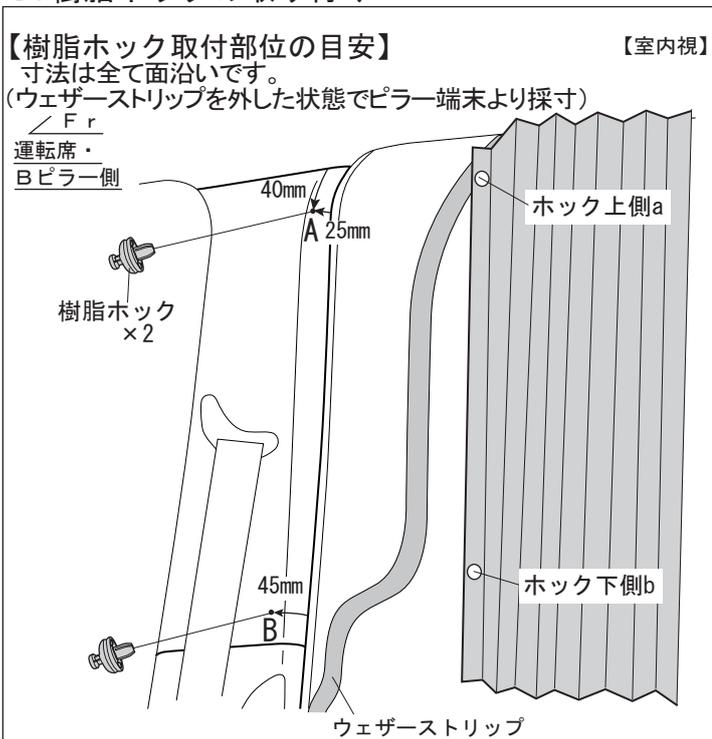
- ①スライドドアを開ける。
- ②ウェザーストリップを部分的に剥がす。
- ③車両の穴にシェードフックを差し込む。
- ④ウェザーストリップを復元する。

### 2. 粘着テープ付きマジックテープの取り付け



- ①脱脂剤等で取付面をクリーニングした後、左図を参考にシェードフックの上端合わせ位置に粘着テープ付きマジックテープ (ブラック) を横長になるよう貼り付け圧着する。

### 3. 樹脂ホックの取り付け



- ①ウェザーストリップを部分的に剥がす。
- ②Bピラー側Aの位置を左図を参考にマーキングする。
- ③マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ6.0)で穴開けする。

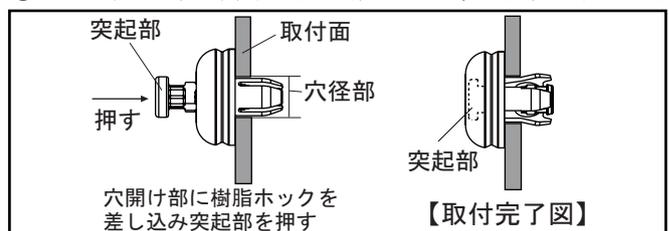
#### ⚠ 注意

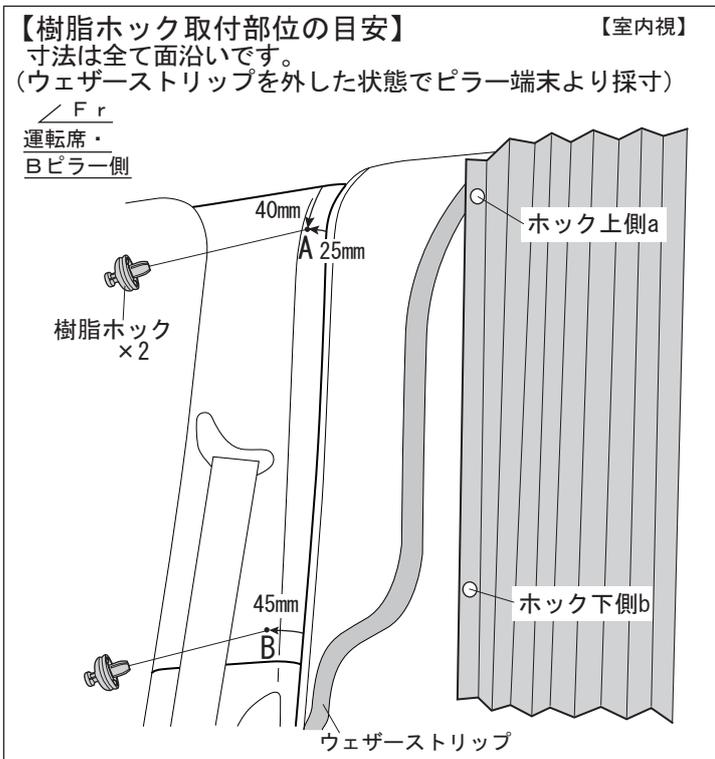
電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



- ④Aの穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。





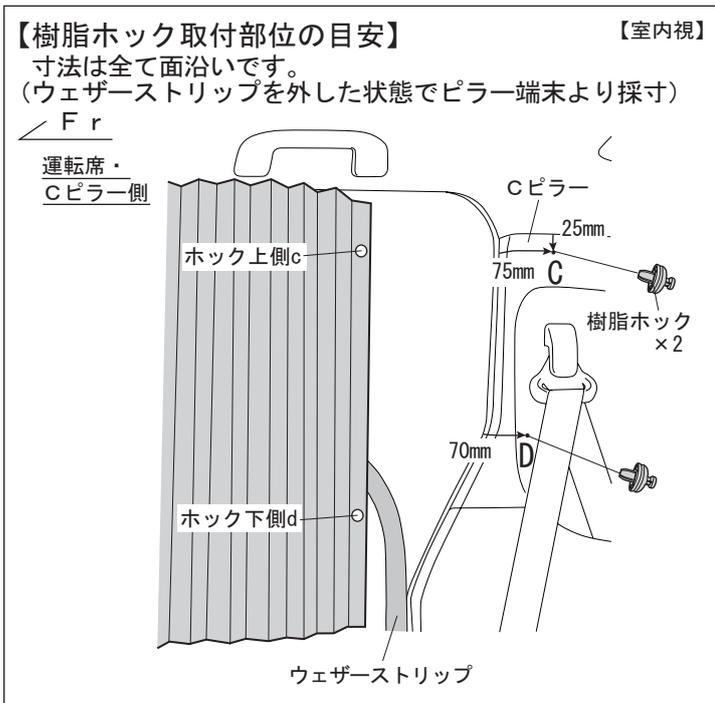
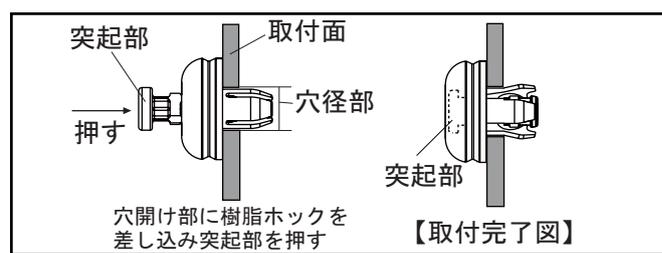
- ⑤ A部の樹脂ホックにカーテン生地の手袋側aを合わせる。
- ⑥ ホック下側bを基準に上下位置を合わせ、左図を参考にBの位置をマーキングする。
- ⑦ マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ6.0)で穴開けする。

**! 注意**

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。  
 巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。

- ⑧ Bの穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。



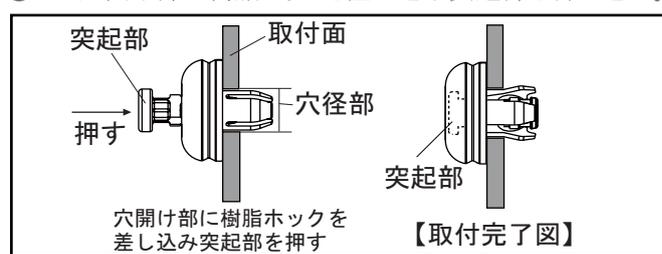
- ⑨ Cピラー側Cの位置を左図を参考にマーキングする。
- ⑩ マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ6.0)で穴開けする。

**! 注意**

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。  
 巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。

- ⑪ Cの穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。

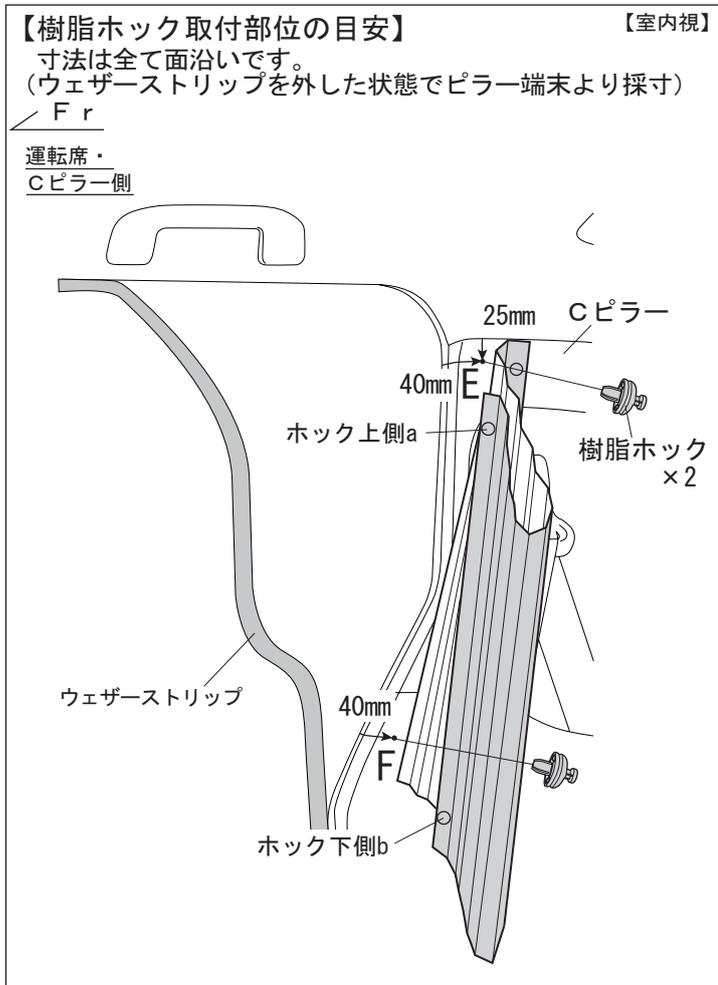
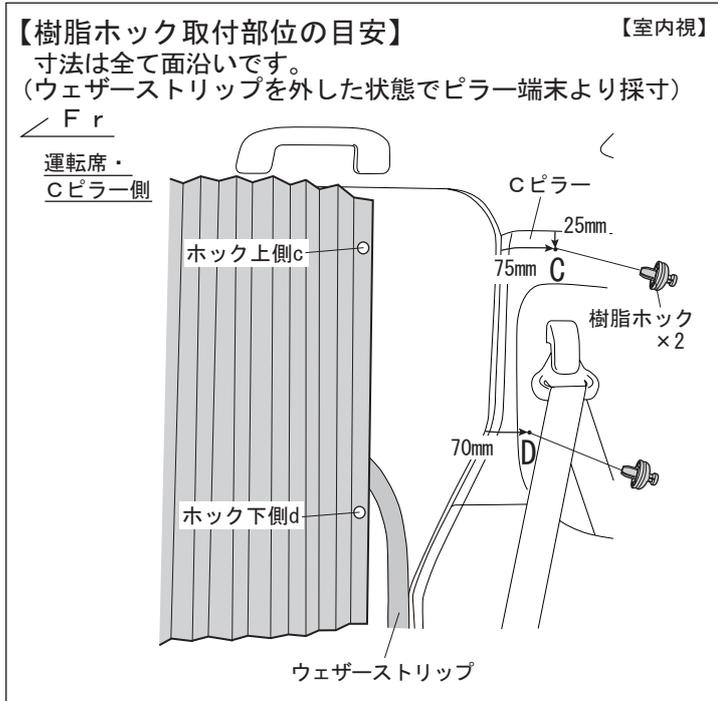


- ⑫ Cの樹脂ホックにカーテン生地の手袋側cを合わせる。
- ⑬ ホック下側dを基準に上下位置を合わせ、左図を参考にDの位置をマーキングする。
- ⑭ マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ6.0)で穴開けする。

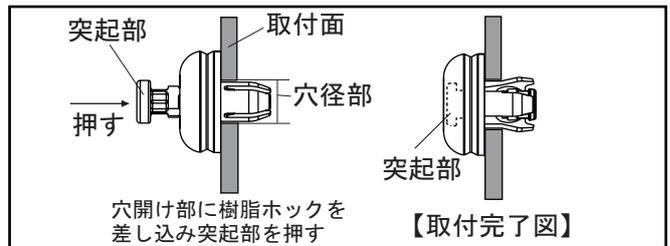
**! 注意**

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。  
 巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



⑮Dの穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。



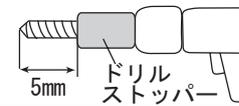
⑯Cピラー側Eの位置を左図を参考にマーキングする。

⑰マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ6.0)で穴開けする。

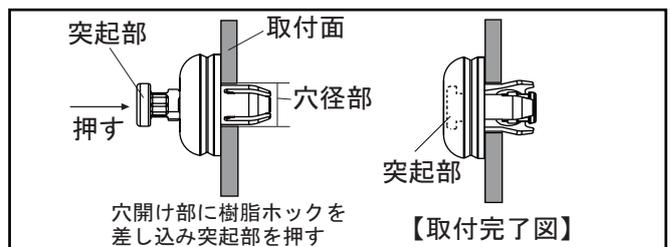
**! 注意**

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



⑱Eの穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。



⑲Cの樹脂ホックにカーテン生地の手側c、Dの樹脂ホックにカーテン生地の手側dを合わせる。

⑳ ⑲の状態Eの樹脂ホックにカーテン生地の手側cを合わせる。

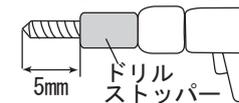
㉑ホック下側bを基準に上下位置を合わせ、左図を参考にFの位置をマーキングする。

㉒マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ6.0)で穴開けする。

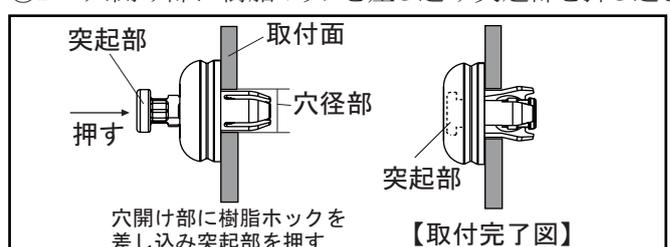
**! 注意**

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



㉓Fの穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。

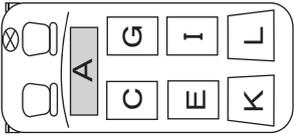


㉔ウェザーストリップを復元する。

# 【セパレーター部の取り付け】

## 取り付け概要

### ○セパレーター部



<助手席側>

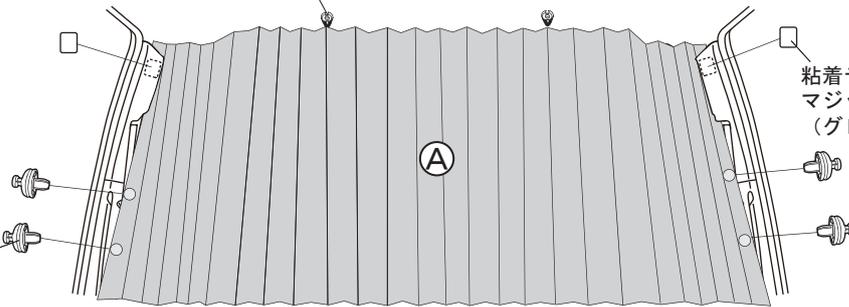
フック×2

<運転席側>

【室内視】

樹脂ホック×4

粘着テープ付き  
マジックテープ  
(グレー)×2

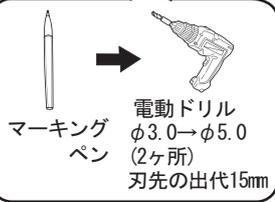
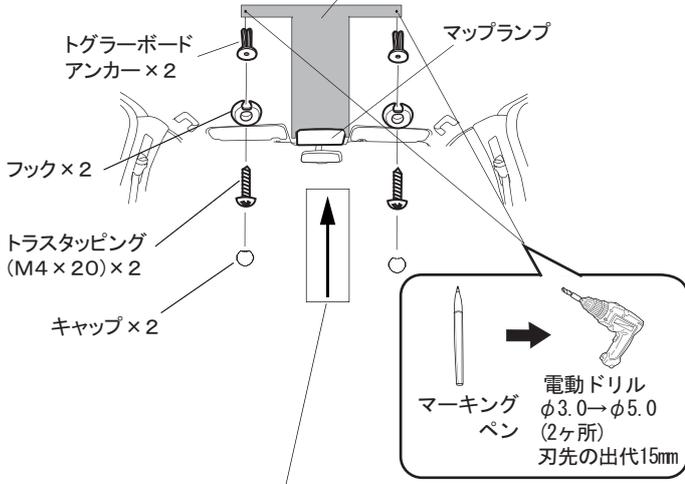


## 1. 型紙の合わせと穴開け方法

<助手席側>

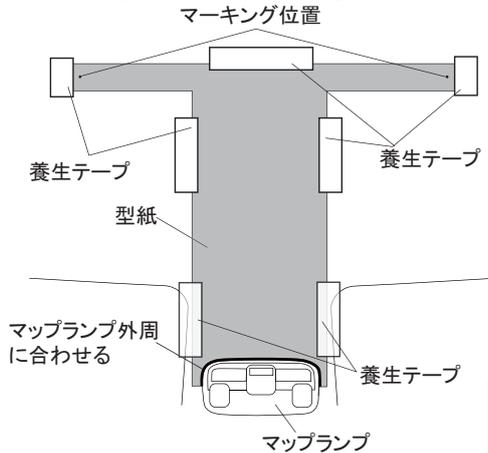
【室内視】

<運転席側>



### ●型紙合わせ拡大図

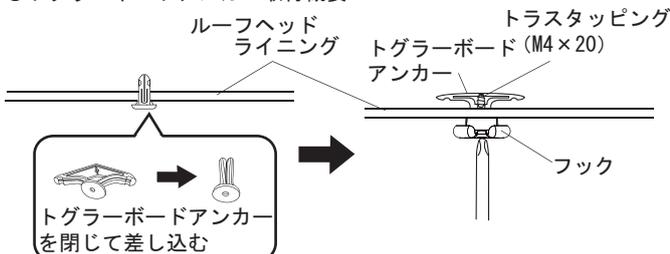
【室内視 (図中矢視)】



### ⚠ 注意

型紙を固定する際は、ルーフヘッドライニングの毛羽立ち防止の為、養生テープを使用してください。

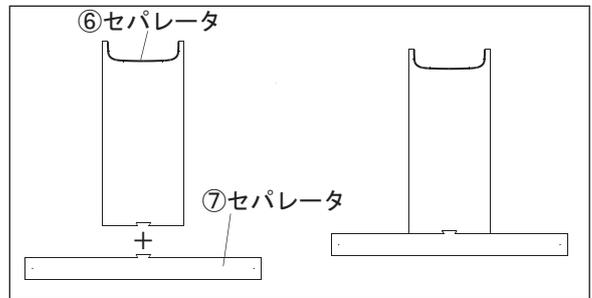
### ●トグラードボードアンカー取付概要



### ⚠ 注意

販売店オプションの12.1型後席ディスプレイと同時装着の場合は、取付作業P13『1.①~③』を実施した後、12.1型後席ディスプレイを取り付けてください。12.1型後席ディスプレイを先に取り付けるとセパレーター部の型紙が合わせられなくなります。

①型紙をテープ等を利用し組み合わせる。



- ②マップランプ外形を基準に型紙を合わせ、ルーフヘッドライニングの形状に沿わせてテープ等で固定し穴越しにマーキングする。
- ③型紙を外しマーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ5.0)で穴開けする。

### ⚠ 注意

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

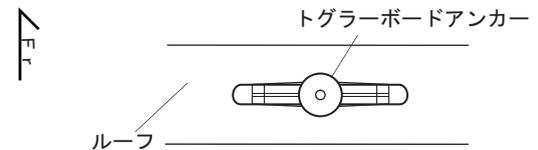
必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



④トグラードボードアンカーを穴開け部に差し込む。

### ⚠ 注意

トグラードボードアンカーを車両横方向に対して平行に開くように差し込んでください。



⑤トラストッピングでフックを取り付ける。

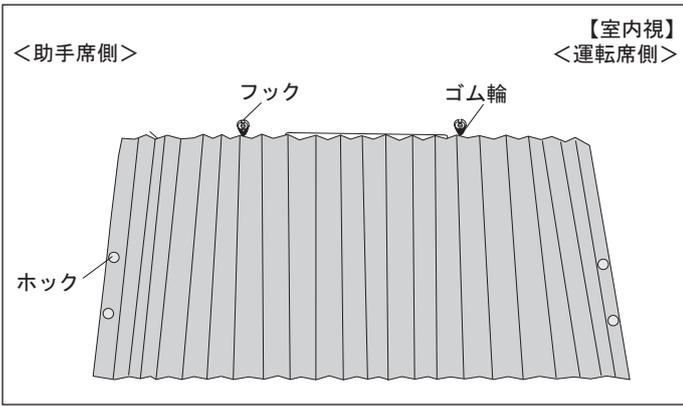
### ⚠ 注意

フックの向きは溝が付いている側が車両後方向になります。

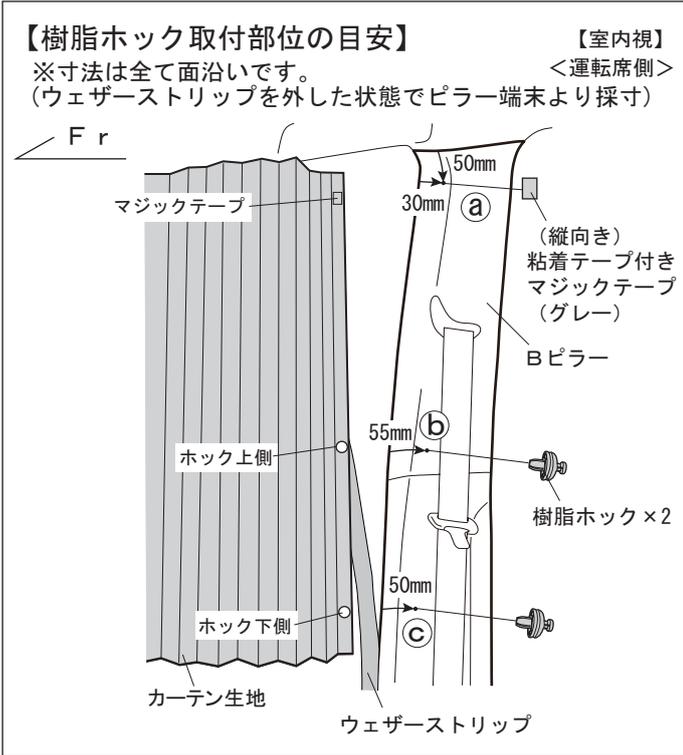
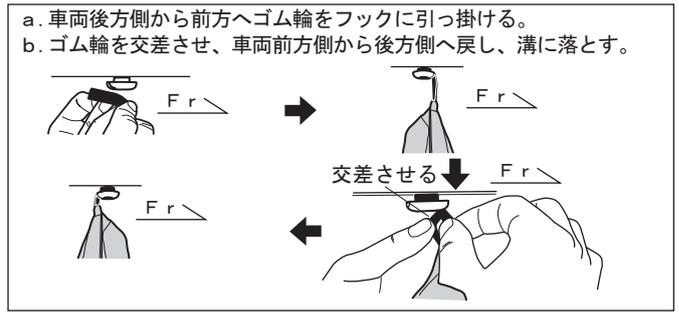


⑥フックにキャップをはめ込む。

## 2. 樹脂ホックの取り付け



- ①下図を参考にカーテン生地上部に付いているゴム輪 (2ヶ所) を天井に付けたフック (2ヶ所) に引っ掛ける。



- ②左図を参考にウエザーストリップを剥がす。  
③Bピラー側①の位置を左図を参考にマーキングする。  
④脱脂剤等で取付面をクリーニングした後、マーキング部に粘着テープ付きマジックテープ (グレー) を縦長になるように貼り付け圧着する。  
⑤Bピラーに取り付けた粘着テープ付きマジックテープ (グレー) とカーテン生地マジックテープを合わせる。  
⑥カーテン生地ホック上側を基準に上下位置を合わせ、左図を参考に⑥の位置をマーキングする。  
⑦マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ6.0)で穴開けする。



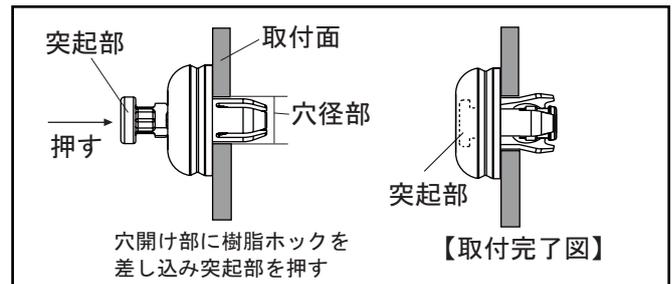
注意

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



- ⑧⑥の穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。



- ⑨⑥部の樹脂ホックにカーテン生地ホック上側を合わせる。  
⑩カーテン生地ホック下側を基準に上下位置を合わせ、左図を参考に③の位置をマーキングする。  
⑪マーキング部にドリル(φ3.0)で穴開け後、ドリル(φ6.0)で穴開けする。



注意

電動ドリルを使用の際は、保護メガネを着用ください。巻き込み防止の為、ドリル作業時は手袋類は着用しないでください。

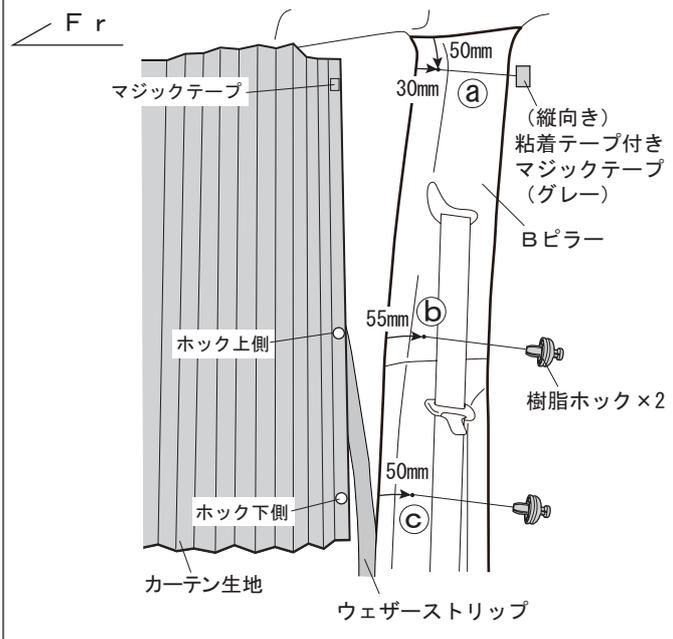
必ず、ドリルには突き抜け防止のドリルストッパーを取り付けてから穴開け作業を行なってください。



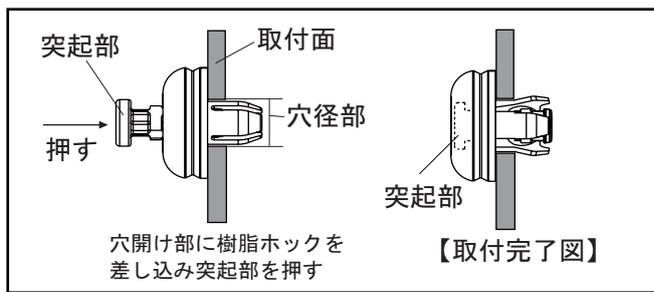
**【樹脂ホック取付部位の目安】**

※寸法は全て面沿いです。  
(ウェザーストリップを外した状態でピラー端末より採寸)

【室内視】  
<運転席側>



⑫ ③の穴開け部に樹脂ホックを差し込み突起部を押し込む。



- ⑬ ③部の樹脂ホックにカーテン生地ホック下側を合わせる。
- ⑭ 助手席側も運転席側と同じ手順で取り付ける。
- ⑮ ウェザーストリップを復元する。